

川崎重工業株式会社

広報部【東京】Tel. (03) 3435-2130 【神戸】Tel. (078) 371-9531 www.khi.co.jp

NO. 2012056

2012年10月31日

平成25年3月期 第2四半期決算短信 [日本基準] (連結)

川崎重工は、平成25年3月期 第2四半期決算（平成24年4月1日～平成24年9月30日）について、つぎのとおりお知らせします。

連結決算

(単位 億円)

	前第2四半期 連結累計期間 (平成24年3月期 第2四半期)	当第2四半期 連結累計期間 (平成25年3月期 第2四半期)	(参考) 前連結会計年度 (平成24年3月期)
受注高	5,134	5,304	13,118
売上高	5,849	5,749	13,037
営業利益	266	103	574
経常利益	272	201	636
税金等調整前四半期(当期)純利益	263	201	487
四半期(当期)純利益	178	124	233
1株当たり四半期(当期)純利益	10.65 円	7.43 円	13.95 円
総資産	13,095	13,808	13,621
純資産	3,066	3,170	3,159
営業活動によるキャッシュ・フロー	325	△ 194	847
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 326	△ 461	△ 659
フリーキャッシュ・フロー	△ 1	△ 656	187
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 53	592	△ 268



平成25年3月期 第2四半期決算短信 [日本基準] (連結)

平成24年10月31日

上場会社名 川崎重工業株式会社 上場取引所 東大名
 コード番号 7012 (URL <http://www.khi.co.jp/>)
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 長谷川 聡
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 松原 秀幸 TEL (03) 3435 - 2130
 四半期報告書提出予定日 平成24年11月8日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績 (平成24年4月1日 ~ 平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績 (累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	574,999	△1.7	10,391	△60.9	20,165	△25.9	12,429	△30.2
24年3月期第2四半期	584,990	2.3	26,623	27.3	27,237	28.1	17,813	44.4

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 10,300百万円 (△30.9%) 24年3月期第2四半期 14,916百万円 (92.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	7.43	-
24年3月期第2四半期	10.65	10.50

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第2四半期	1,380,896	317,037	22.1
24年3月期	1,362,139	315,922	22.4

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 306,427百万円 24年3月期 306,054百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
25年3月期	—	0.00			
25年3月期(予想)			—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想 (平成24年4月1日 ~ 平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	1,300,000	△0.2	36,000	△37.3	50,000	△21.4	30,000	28.6	17.94

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想の修正については、本日 (平成24年10月31日) 公表しました「業績予想の修正に関するお知らせ」を参照してください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

新規 — 社（社名）、除外 — 社（社名）

(注) 詳細は、添付資料P. 4「2. (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注) 詳細は、添付資料P. 4「2. (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 有
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 有
- ④ 修正再表示： 無

(注) 「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料P. 4「2. (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

25年3月期2Q	1,671,892,659株	24年3月期	1,671,892,659株
25年3月期2Q	90,297株	24年3月期	77,126株
25年3月期2Q	1,671,809,081株	24年3月期2Q	1,671,112,605株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき判断したものであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は様々な要因の変化により、記載の予想と異なる結果となることがあります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 4「1. (3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料及び四半期決算説明会内容の入手方法)

当社は、平成24年10月31日(水)に、機関投資家・アナリスト向けの決算説明会を開催する予定です。この説明会で配布する四半期決算説明資料につきましては、決算発表と同時にT D n e t及び当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	4
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
(6) セグメント情報等	10
4. 補足情報	11
(1) 受注及び販売の状況	11
(2) 地域別売上高	12
(3) 平成25年3月期 連結業績見通し補足資料	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

世界経済は全体としては緩やかな成長基調が続くと想定されますが、米国における財政問題、依然として厳しい雇用環境、欧州における債務国問題等の不安定要素を抱えており、先進国経済の回復の足取りは緩慢なものに留まっています。また、中国の経済成長率が当初見通しを下回る等、これまで世界経済を牽引してきた新興国経済も減速傾向にあり、先行きの下振れリスクが高まっています。また、予断を許さない為替動向等、当社を取り巻く経営環境は厳しい状況が継続すると考えられます。

また、国内経済は、東日本大震災の復興需要が本格化しつつありますが、円高の長期化や世界経済の下振れに伴う輸出企業の減速リスクを抱えています。一方、将来のエネルギーのあり方に対する関心が高まるなかで、様々な基幹インフラを手掛ける当社グループが果たすべき社会的な役割は、ますます大きなものとなってきています。

このような経営環境の中で、当第2四半期における当社グループの受注高は、車両事業や航空宇宙事業などでの増加が精密機械事業などにおける減少をカバーし、全体では増加となりました。一方、売上高および営業損益においては、多くの事業において前年同期と比べて減収ないしは減益となりました。売上では航空宇宙事業などが増収となりましたが、中国経済の減速の影響による精密機械事業や、プラント・環境事業における減収などが大きく、全体では減収となりました。損益面でも、増収となった航空宇宙事業などが増益となったものの、精密機械事業や車両事業などの減益によって、全体では減益となりました。

この結果、当社グループの連結受注高は前年同期比169億円増の5,304億円、連結売上高は前年同期比99億円減収の5,749億円、営業利益は前年同期比162億円減益の103億円、経常利益は前年同期比70億円減益の201億円、四半期純利益は前年同期比53億円減益の124億円となりました。

当第2四半期連結累計期間の連結セグメント別業績の概要は以下のとおりです。

(単位 億円)

報告セグメント	前第2四半期 連結累計期間 (23年9月期)		当第2四半期 連結累計期間 (24年9月期)		(参考) 受注高	
	売上高	営業損益	売上高	営業損益	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間
					(23年9月期)	(24年9月期)
船舶海洋	531	5	458	10	246	378
車両	553	11	514	△31	421	669
航空宇宙	874	30	1,091	43	675	910
ガスタービン・機械	847	39	932	32	797	654
プラント・環境	562	67	464	31	468	513
モーターサイクル &エンジン	1,062	△23	1,039	△22	1,062	1,039
精密機械	852	145	670	49	911	556
その他	564	18	579	6	551	581
調整額	—	△27	—	△17	—	—
合 計	5,849	266	5,749	103	5,134	5,304

(注) 売上高は、外部顧客に対する売上高。

船舶海洋事業

連結受注高は、LNG運搬船など4隻を受注し、前年同期から132億円増の378億円となりました。

連結売上高は、LNG船、LPG船といった液化ガス運搬船の建造量が増加した一方、ケーブルサイズのばら積み船などの建造量が減少し、前年同期に比べ73億円減収の458億円となりました。

営業利益は、売上高の減少があったものの、受注工事損失引当金の繰入が減少したことなどにより、前年同期比4億円増益の10億円となりました。

車両事業

連結受注高は、台湾向け高速鉄道車両やシンガポール向け地下鉄車両の受注などにより、前年同期に比べ248億円増の669億円となりました。

連結売上高は、JR各社向けの増加により国内向けの売上が増加したものの、海外向け売上が減少となったことなどにより、前年同期比38億円減収の514億円となりました。

営業損益は、海外プロジェクトに係る受注工事損失引当金の繰入などにより前年同期比42億円悪化し、31億円の営業損失となりました。

航空宇宙事業

連結受注高は、防衛省向けやボーイング社向け777・787航空機分担製造品の受注が増加したことなどにより、前年同期比234億円増の910億円となりました。

連結売上高は、C-2輸送機等の防衛省向けが増加したことに加えて、ボーイング社向け787航空機分担製造品が増加したことおよび777航空機分担製造品も引き続き好調であったことなどにより、前年同期比216億円増の1,091億円と大幅な増収となりました。

営業利益は、売上の増加やコスト削減などにより、前年同期から13億円増益の43億円となりました。

ガスタービン・機械事業

連結受注高は、航空機用エンジン分担製造品が増加したものの、ガスエンジン発電所建設工事の大口受注があった前年同期に比べ、142億円減の654億円となりました。

連結売上高は、陸用タービン設備などが減少したものの、産業用ガスタービンやガスエンジン、航空機用エンジン分担製造品などの増加により、前年同期比84億円増収の932億円となりました。

営業利益は、研究開発費の増加などにより、前年同期比6億円減益の32億円となりました。

プラント・環境事業

連結受注高は、イクシスLNGプロジェクト向け低温タンクなどを受注し、前年同期比45億円増の513億円となりました。

連結売上高は、LNG貯槽案件が引き続き高水準で推移するとともに、搬送設備・ごみ焼却プラントなどで増加したものの、海外向け大型案件が減少したことにより、前年同期から98億円減収の464億円となりました。

営業利益は、売上の減少ならびに利益率の低下により、前年同期比35億円減益の31億円となりました。

モーターサイクル&エンジン事業

連結売上高は、インドネシアなどを中心とする新興国向け二輪車の増加があったものの、欧州向け二輪車の販売が大幅に減少したこと、および円高ユーロ安の影響により、前年同期比22億円減収の1,039億円となりました。

営業損益は、前年同期並みの22億円の営業損失となりました。

精密機械事業

連結受注高は、中国向けを中心とする新興国建機市場向け油圧機器の減少などにより、前年同期比355億円減の556億円と大幅に減少しました。

連結売上高は、中国向けを中心とする新興国建機市場向け油圧機器の減少などにより、前年同期比181億円減収の670億円となりました。

営業利益は、売上の減少に加え、過年度の設備投資などに伴う固定費の増加などにより、前年同期比95億円減の49億円と、大幅な減益となりました。

その他事業

連結売上高は、前年同期比14億円増収の579億円となりました。

営業利益は、前年同期比11億円減益の6億円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期会計期間末の総資産は、受取手形及び売掛金が減少した一方で、手持ち工事の進捗に伴う棚卸資産の増加や設備投資による有形固定資産の増加、大連中遠川崎船舶工程有限公司への出資などにより、前期末比187億円増の1兆3,808億円となりました。負債は、支払手形及び買掛金の減少があったものの、コマーシャルペーパーや社債、前受金などが増加したことにより前期末比176億円増の1兆638億円となりました。有利子負債は前期末比651億円増の4,723億円となりました。純資産は、配当金の支払や四半期純利益の計上等により前期末比11億円増の3,170億円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

世界経済は全体としては緩やかな成長基調が続くと想定されますが、米国における財政問題、依然として厳しい雇用環境、欧州における債務国問題等の不安定要素を抱えており、先進国経済の回復の足取りは緩慢なものに留まっています。また、中国の経済成長率が当初見通しを下回る等、これまで世界経済を牽引してきた新興国経済も減速傾向にあり、先行きの下振れリスクが高まっています。また、予断を許さない為替動向等、当社を取り巻く経営環境は厳しい状況が継続すると考えられます。

こうした経営環境を踏まえ当年度の業績見直しを見直した結果、連結売上高は新興国向け建設機械用油圧機器の需要が低調な精密機械事業で大幅に減少することに加え、円高や先進国市場の景気減速の影響によりモーターサイクル&エンジン事業で減少するため、全体としては前回公表値から800億円減少し1兆3,000億円となる見通しです。

利益面については、船舶海洋事業等で当初見通しを上回るものの、売上減少、車両事業における海外プロジェクトに係る受注工事損失引当金の計上等の影響により、連結営業利益は前回公表値から160億円減の360億円となる見通しです。また、為替予約による差益や持分法利益の好転等により営業外損益の改善が見込まれることから、連結経常利益は前回公表値から60億円減の500億円、連結当期純利益は前回公表値から40億円減の300億円となる見通しです。

詳細につきましては、本日（平成24年10月31日）公表しました「業績予想の修正に関するお知らせ」を参照してください。

なお、本業績見直しにおける為替レートは、1ドル=80円、1ユーロ=100円を前提としております。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算している。また、見積実効税率を使用できない場合は、税引前四半期純利益に一時差異に該当しない重要な差異を加減した上で、法定実効税率を乗じて計算している。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示している。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(減価償却方法の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更している。

これにより、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ299百万円増加している。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	34,316	28,798
受取手形及び売掛金	404,054	361,806
商品及び製品	53,558	57,157
仕掛品	300,224	336,025
原材料及び貯蔵品	88,113	86,079
その他	90,174	88,600
貸倒引当金	△3,255	△3,166
流動資産合計	967,186	955,301
固定資産		
有形固定資産	274,750	285,433
無形固定資産		
のれん	300	130
その他	18,485	18,305
無形固定資産合計	18,786	18,436
投資その他の資産		
その他	102,356	122,832
貸倒引当金	△940	△1,107
投資その他の資産合計	101,416	121,725
固定資産合計	394,953	425,594
資産合計	1,362,139	1,380,896
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	310,775	272,206
短期借入金	137,568	146,990
未払法人税等	4,627	3,306
賞与引当金	20,582	15,558
受注工事損失引当金	30,977	27,242
その他の引当金	7,128	5,759
前受金	99,050	111,718
その他	85,291	110,230
流動負債合計	696,002	693,014
固定負債		
社債	60,000	80,000
長期借入金	198,737	199,420
退職給付引当金	75,052	72,585
その他の引当金	4,192	3,811
その他	12,232	15,027
固定負債合計	350,214	370,844
負債合計	1,046,216	1,063,859

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	104,484	104,484
資本剰余金	54,393	54,393
利益剰余金	176,414	180,093
自己株式	△22	△25
株主資本合計	335,270	338,947
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,989	1,653
繰延ヘッジ損益	246	2,579
為替換算調整勘定	△33,451	△36,753
その他の包括利益累計額合計	△29,215	△32,520
少数株主持分	9,868	10,610
純資産合計	315,922	317,037
負債純資産合計	1,362,139	1,380,896

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
売上高	584,990	574,999
売上原価	485,826	488,593
売上総利益	99,164	86,406
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	19,896	20,683
研究開発費	16,228	18,203
貸倒引当金繰入額	—	269
その他	36,416	36,858
販売費及び一般管理費合計	72,541	76,014
営業利益	26,623	10,391
営業外収益		
受取利息	701	836
受取配当金	377	285
持分法による投資利益	4,833	5,920
為替差益	—	3,581
その他	2,396	3,120
営業外収益合計	8,308	13,744
営業外費用		
支払利息	2,255	2,073
為替差損	2,990	—
有価証券評価損	7	86
その他	2,442	1,809
営業外費用合計	7,694	3,969
経常利益	27,237	20,165
特別損失		
減損損失	924	—
特別損失合計	924	—
税金等調整前四半期純利益	26,312	20,165
法人税等	7,254	6,629
少数株主損益調整前四半期純利益	19,058	13,536
少数株主利益	1,245	1,107
四半期純利益	17,813	12,429

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	19,058	13,536
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,175	△2,362
繰延ヘッジ損益	153	2,331
為替換算調整勘定	△3,680	△2,519
持分法適用会社に対する持分相当額	561	△685
その他の包括利益合計	△4,141	△3,236
四半期包括利益	14,916	10,300
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	13,550	9,124
少数株主に係る四半期包括利益	1,366	1,176

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	26,312	20,165
減価償却費	22,312	21,921
減損損失	924	—
引当金の増減額 (△は減少)	△3,927	△12,176
受取利息及び受取配当金	△1,078	△1,121
支払利息	2,255	2,073
有価証券評価損益 (△は益)	7	86
持分法による投資損益 (△は益)	△4,833	△5,920
売上債権の増減額 (△は増加)	73,204	34,414
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△28,528	△43,390
仕入債務の増減額 (△は減少)	△58,568	△40,727
前受金の増減額 (△は減少)	13,350	14,120
その他	△434	△1,362
小計	40,995	△11,916
利息及び配当金の受取額	1,063	1,160
利息の支払額	△2,298	△2,029
法人税等の支払額	△7,188	△6,701
営業活動によるキャッシュ・フロー	32,572	△19,487
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形及び無形固定資産の取得による支出	△33,176	△32,298
有形及び無形固定資産の売却による収入	155	275
投資有価証券の取得による支出	△34	△489
投資有価証券の売却による収入	5	794
関連会社株式の取得による支出	△526	△12,331
敷金及び保証金の差入による支出	—	△1,152
短期貸付金の増減額 (△は増加)	25	△375
長期貸付けによる支出	△35	△41
長期貸付金の回収による収入	43	48
その他	857	△601
投資活動によるキャッシュ・フロー	△32,686	△46,172
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△4,416	51,342
長期借入れによる収入	8,741	24,327
長期借入金の返済による支出	△3,954	△27,425
社債の発行による収入	20,000	20,000
社債の償還による支出	△20,186	—
自己株式の純増減額 (△は増加)	△7	△2
配当金の支払額	△5,000	△8,331
少数株主への配当金の支払額	△470	△434
その他	△33	△188
財務活動によるキャッシュ・フロー	△5,328	59,287
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,977	1,012
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△7,419	△5,358
現金及び現金同等物の期首残高	44,629	33,245
連結子会社の会計期間変更に伴う現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,508	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	35,701	27,886

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	船舶海洋 事業	車両事業	航空宇宙 事業	ガスター ビン・ 機械事業	プラント ・環境 事業	モーター サイクル &エンジ ン事業	精密機械 事業	その他 事業	報告 セグメント 計	調整額 (注1)	連結
売上高											
(1) 外部顧客への 売上高	53,183	55,366	87,479	84,760	56,299	106,202	85,251	56,446	584,990	—	584,990
(2) セグメント間 の内部売上高 又は振替高	722	472	899	7,432	4,311	482	6,564	16,769	37,655	△37,655	—
計	53,906	55,838	88,379	92,193	60,610	106,684	91,816	73,215	622,646	△37,655	584,990
セグメント利益 又は損失(△)	532	1,133	3,057	3,914	6,740	△2,378	14,514	1,868	29,383	△2,760	26,623

(注) 1 調整額の内訳は以下のとおりである。

(単位:百万円)

利益	金額
セグメント間取引消去	13
全社費用(注)	△2,774
合計	△2,760

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等である。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っている。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	船舶海洋 事業	車両事業	航空宇宙 事業	ガスター ビン・ 機械事業	プラント ・環境 事業	モーター サイクル &エンジ ン事業	精密機械 事業	その他 事業	報告 セグメント 計	調整額 (注1)	連結
売上高											
(1) 外部顧客への 売上高	45,808	51,483	109,156	93,217	46,405	103,927	67,060	57,938	574,999	—	574,999
(2) セグメント間 の内部売上高 又は振替高	1,162	449	1,153	8,252	6,964	349	5,965	15,941	40,239	△40,239	—
計	46,970	51,932	110,310	101,470	53,369	104,277	73,025	73,880	615,238	△40,239	574,999
セグメント利益 又は損失(△)	1,019	△3,100	4,399	3,269	3,150	△2,288	4,971	692	12,113	△1,722	10,391

(注) 1 調整額の内訳は以下のとおりである。

(単位：百万円)

利益	金額
セグメント間取引消去	810
全社費用(注)	△2,533
合計	△1,722

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等である。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っている。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) 受注及び販売の状況

<受注高>

(単位 百万円、%)

報告セグメント	前第2四半期 連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)		当第2四半期 連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)		前連結会計年度 (自平成23年4月1日 至平成24年3月31日)	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
船舶海洋	24,657	4.8	37,877	7.1	39,909	3.0
車両	42,126	8.2	66,932	12.6	66,099	5.0
航空宇宙	67,596	13.1	91,010	17.1	327,233	24.9
ガスタービン・機械	79,729	15.5	65,470	12.3	227,281	17.3
プラント・環境	46,823	9.1	51,384	9.6	119,284	9.0
モーターサイクル&エンジン	106,202	20.6	103,927	19.5	235,243	17.9
精密機械	91,159	17.7	55,618	10.4	174,587	13.3
その他	55,161	10.7	58,186	10.9	122,239	9.3
合計	513,456	100.0	530,408	100.0	1,311,878	100.0

(注) モーターサイクル&エンジン事業については、主として見込み生産を行っていることから、受注高について売上高と同額として表示している。

<売上高>

(単位 百万円、%)

報告セグメント	前第2四半期 連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)		当第2四半期 連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)		前連結会計年度 (自平成23年4月1日 至平成24年3月31日)	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
船舶海洋	53,183	9.0	45,808	7.9	113,532	8.7
車両	55,366	9.4	51,483	8.9	132,684	10.1
航空宇宙	87,479	14.9	109,156	18.9	206,580	15.8
ガスタービン・機械	84,760	14.4	93,217	16.2	194,655	14.9
プラント・環境	56,299	9.6	46,405	8.0	122,800	9.4
モーターサイクル&エンジン	106,202	18.1	103,927	18.0	235,243	18.0
精密機械	85,251	14.5	67,060	11.6	175,077	13.4
その他	56,446	9.6	57,938	10.0	123,205	9.4
合計	584,990	100.0	574,999	100.0	1,303,778	100.0

<受注残高>

(単位 百万円、%)

報告セグメント	前連結会計年度末 (平成24年3月31日)		当第2四半期 連結会計期間末 (平成24年9月30日)		前第2四半期 連結会計期間末 (平成23年9月30日)	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
船舶海洋	102,870	6.8	92,809	6.6	145,762	10.4
車両	345,170	23.1	344,485	24.5	394,125	28.3
航空宇宙	386,376	25.8	365,305	26.0	244,598	17.5
ガスタービン・機械	409,819	27.4	365,742	26.0	356,454	25.6
プラント・環境	181,698	12.1	178,597	12.7	175,708	12.6
モーターサイクル&エンジン	—	—	—	—	—	—
精密機械	42,300	2.8	30,858	2.1	48,698	3.5
その他	25,879	1.7	26,116	1.8	25,558	1.8
合計	1,494,116	100.0	1,403,914	100.0	1,390,905	100.0

(2) 地域別売上高

前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)

(単位：百万円)

日本	米国	欧州	アジア	その他	合計
241,194	102,865	62,180	115,232	63,516	584,990
41.2%	17.5%	10.6%	19.7%	10.8%	100.0%

当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)

(単位：百万円)

日本	米国	欧州	アジア	その他	合計
287,599	113,606	40,234	86,825	46,732	574,999
50.0%	19.7%	6.9%	15.1%	8.1%	100.0%

(3) 平成25年3月期 連結業績見通し補足資料

1. 全社見通し

(単位 億円)

	平成25年3月期見通し			24年3月期実績
	今回	4月26日見通し	増減	
売上高	13,000	13,800	△800	13,037
営業利益	360	520	△160	574
経常利益	500	560	△60	636
当期純利益	300	340	△40	233
受注高	13,500	14,300	△800	13,118
ROIC(税引前)	7.3%	8.2%	△0.9%	7.4%
研究開発費	450	450	—	399
設備投資額	750	790	△40	639
減価償却費	520	540	△20	489
期末従業員数	34,500	34,700	△200	33,267
(うち海外従業員)	(9,100)	(9,200)	(△100)	(8,497)

(注) ・平成25年3月期見通し前提為替レート：80円/USD、100円/EUR

・ROIC(税引前) = (税引前利益 + 支払利息) ÷ 投下資本

・設備投資額は有形・無形固定資産の新規計上額、減価償却費は有形・無形固定資産の減価償却実施額

2. 報告セグメント別見通し

(a) 売上損益

(単位 億円)

報告セグメント	平成25年3月期見通し						24年3月期実績	
	今回		4月26日見通し		増減		売上高	営業損益
	売上高	営業損益	売上高	営業損益	売上高	営業損益		
船舶海洋	800	△20	800	△50	—	30	1,135	39
車両	1,300	20	1,300	60	—	△40	1,326	51
航空宇宙	2,500	90	2,500	90	—	—	2,065	78
ガスタービン・機械	2,100	80	2,100	80	—	—	1,946	77
プラント・環境	1,300	110	1,300	100	—	10	1,228	141
モーターサイクル&エンジン	2,500	20	2,600	50	△100	△30	2,352	△29
精密機械	1,300	120	2,000	270	△700	△150	1,750	266
その他	1,200	30	1,200	20	—	10	1,232	38
調整額		△90		△100		10		△88
合計	13,000	360	13,800	520	△800	△160	13,037	574

(b) 受注高

(単位 億円)

報告セグメント	平成25年3月期見通し			24年3月期実績
	今回	4月26日見通し	増減	
船舶海洋	1,100	1,100	—	399
車両	1,400	1,500	△100	660
航空宇宙	2,200	2,200	—	3,272
ガスタービン・機械	2,400	2,300	100	2,272
プラント・環境	1,300	1,300	—	1,192
モーターサイクル&エンジン	2,500	2,600	△100	2,352
精密機械	1,300	2,100	△800	1,745
その他	1,300	1,200	100	1,222
合計	13,500	14,300	△800	13,118